

# 社会とともに学ぶ

## ～地域連携・共同を通して学び合う、高め合う、仲間意識を育む～

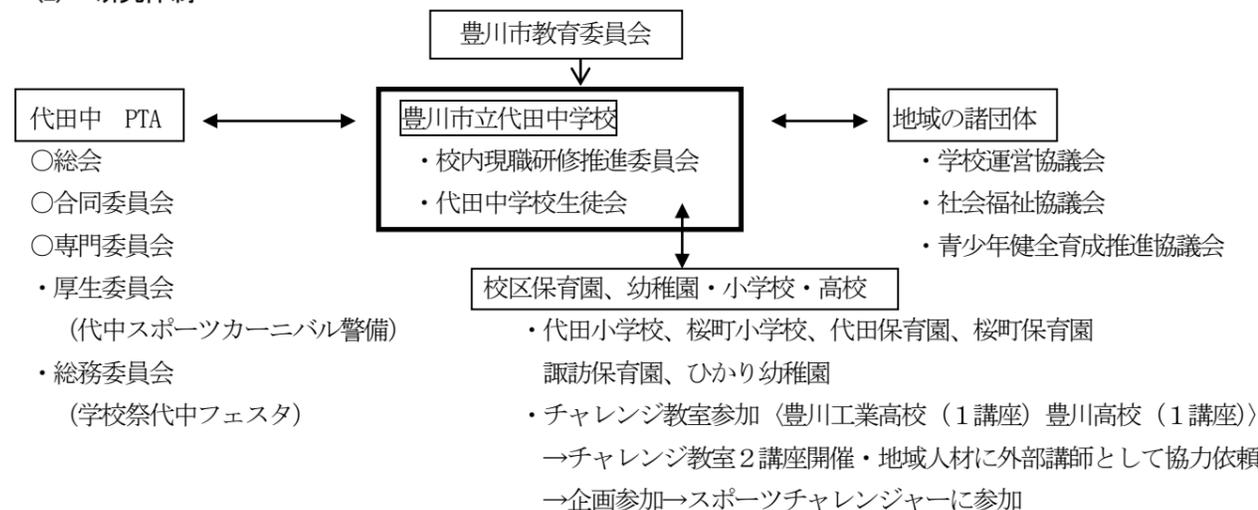
豊川市立代田中学校

### 1 実践のねらい

#### (1) ねらい

・学んだことが、地域のために、どのような役に立つかを理解することにより、一人一人に社会参画意識と態度が育まれる。

#### (2) 研究体制



### 2 実践の内容

○ 教科(家庭科)で作成した乳幼児用おもちゃを持参して、地域の各保育園・幼稚園を訪問し、園児と共に作品を活用する場を設定し、触れ合いを深めた。

幼児用のおもちゃは知育おもちゃとし、ボタン付け・靴ひもを縛る練習などができる要素を取り入れ、幼児のうちに身に付けたいことを中心に制作を行った。各保育園に持参し、乳幼児との触れ合いの時間を設定すると、乳幼児たちはおもちゃに興味津々であった。



保育園訪問の様子

○ 学校祭(代中フェスタ)では、参加者全員が気軽にスポーツを楽しむイベント「スポーツチャレンジャー」を企画・運営し、校区内の小学生・乳幼児・地域の方々を招いた。また、校区内にある豊川工業高校など、地域の方々を講師として学習する「チャレンジ教室」を開催し、共に活動することで、触れ合うことの喜びを味わうことができた。



スポーツチャレンジャー当日 準備(看板等作り) チャレンジ教室(豊川工業高校)

地域の方や校区の小学生、乳幼児、PTAとの触れ合いを深めるための広報活動を行った。事前に、案内・チラシ・ポスターなどを作成し掲示をしたことで、二日間延べ約1800人の地域の方々をお招きすることができた。

○ 地域の保育園・お年寄りの介護施設で、生徒会企画(ボランティア活動)、吹奏楽部の成果を発表する場を設定した。保育園訪問では、手洗い・歯磨き・うがいなど、基本的な生活習慣の大切さを、着ぐるみをまとった代中チャレンジャー(生徒会企画のボランティア・広報活動のための着ぐるみキャラクター)による寸劇で広報活動した。また、お年寄りの介護施設では、生徒会・吹奏楽部・ボランティア中学生が参加し、寸劇・合奏・合唱などを通して触れ合いを深めた。

○ 社会に開かれた教育課程として位置付ける。

・防災講演会<特活・総合・保体・道徳>……生徒たちは、避難所開設に向けてのアドバイスを地域の方と共に学習した。「一人一人が防災実践者」をテーマに講演を聴き、災害時、学校・地域・中学生が、実際にどのような状況におかれるのか、自分たち中学生に何ができるのかを学習した。講演を聴くことにより、中学生だからこそ、家庭・地域にできることを考え、実践するきっかけになった。(地域教育力の活用)

・避難所生活宿泊体験<特活・総合・保体・道徳>……生徒たちは、防災講演会で聞いたことを実践することで、更なる防災意識の高揚、顔見知りの関係づくりにつなげることができた。避難所になる中学校で、市の防災課と協賛し、地域の方々との避難所生活を体験しながら、中学生として家庭・地域の方々には何かを考え、実践した。(地域連携)



避難所生活宿泊体験(アルファ化米配付・避難所運営ゲーム実施)

・校区防災訓練<特活・道徳・保体>……生徒たちは、講演会や避難所生活体験で学んだことをいかし、地域の方々と協力して訓練に臨む姿勢を養った。(地域連携)

・生命を考える会(1・3年生)<道徳・保体・特活>……生徒たちは、男女交際を含めて、「自立」をテーマに講演を聴き、自他の命を大切にし、社会の一員として自分らしく生きようとする気持ちを高めた。(地域の教育力の活用)

・赤ちゃんふれあい体験<家庭科・保体・道徳>……家庭科の授業に、校区在住の赤ちゃんとお母さんを招いた。生徒たちは、赤ちゃんとの触れ合い体験を通して自分の成長を感じ、喜びや親への感謝の気持ちをもつことができた。また、命を大切にしようとする心情が高まった。

・小中合同引渡し訓練<特活・総合・保体・道徳>……大規模地震の際、生徒たちは、安全確保の意識を高め、地域で協力し合って下校することの必要性を実感した。小・中合同で実施する中で、中学生としての自覚を高め、保護者への引渡しを確実にすること、家族との連絡方法を確実にしておくことの大切さを改めて学んだ。(地域との連携)

・人権集会(人権週間)<道徳・特活・国語・社会>……家庭や地域との連携・協力を図り、人権教育の正しい認識と理解が深まるよう、道徳の授業公開をした。また、青少年健全育成協議会からお招きした人権擁護委員の方々とともに、人権啓発活動を進めた。(人権教育の推進)

・夢に向かって講演会<特活・総合>……日本女子プロ野球選手である、本校先輩を招き、地域社会で活躍する先輩の生き方を通して、生徒たちは人間としての在り方を考えることができた。

好きなことを夢にする。それを叶えるためには、毎日の地道な努力、好きという気持ちが必要だと改めて学ばせてもらいました。自分のしたいこと、それを成し遂げるためにはどうすればよいか。これからはたくさん考えていきたい。(2年 A子)



「夢に向かって」講演会 社会で活躍する本校先輩

・校区内敬老会への参加<道徳>……人生の大先輩である方々との触れ合いを大切に、地域の一員としての自覚をもつ機会とした。(地域行事への協力、参加、地域との連携)

・食育講演会<家庭・保体・道徳・総合>……地域で農業に携わる方から保護者と共に話を聴くことで、地産地消の大切さや野菜の組合せ方など、具体的に毎日の食事を思い浮かべながら関心を高めた。(地域の教育力の活用)

・地区市民館祭りの参加<特活・道徳・保体・音楽>……音楽の授業や部活動で学んだことを地域の方々の前で発表することで、学校における教育活動の内容をお知らせする機会とした。(地域行事への協力・参加)

### 3 実践の成果や課題

・家庭科で学んだ幼児教育・ものづくり教育を基に、作成した乳幼児へのおもちゃを持参し遊ぶことで、子供自身に社会参画意識が育まれた。また、代中フェスタ(文化祭・体育祭)のような学校行事への参加依頼や企画を通して、これからも地域の中で主体的に活動したいという気持ちを育むことができた。

・教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したことで、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現することができた。

・今後、子供たちが地域に向き合い、関わり、自らを切り拓(ひら)いていくための資質・能力を、教育課程において明確化し、育んで行くことが大切である。